

【イベント案内】

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

- 自然教室「夜の森へ出かけよう」
内容：宮ヶ瀬で夕方から夜への自然の変化や真っ暗な暗闇を体験しよう！
開催日：平成25年8月24日(土)
時間：15:30～19:30
募集人数：30名（小学生以上の子供と保護者）
参加費：1000円
締切：8月5日(月)
集合・解散：宮ヶ瀬ビジターセンターレクチャールーム
交通機関：小田急線本厚木駅からバスで「宮ヶ瀬」行 終点下車徒歩5分 乗車時間約1時間
申込み：往復はがき又はFAXに行事名・参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号（FAXでお申し込みの方は返信先FAX番号）を記入して締切日必着で宮ヶ瀬ビジターセンターまで。

環境省 箱根ビジターセンター

- 夏休み活動
開催期間：7月28日(日)～8月18日(日)
内容：早朝観察会 6:00から一時間ほどかけて箱根VC周辺を自然観察します。
大涌谷観察会 10:00出発2時間かけて大涌谷までの自然観察をします。
13:00からは大涌谷から往路。
クラフト教室 10:00～14:30まで箱根VC多目的ホールでクラフトをつくります
- 箱根で昆虫観察会
8月4日 19:00～21:00 箱根VC周辺で夜行性昆虫を観察します。
8月17日 「昼の部」13:00～16:30
箱根VC周辺で昆虫を捕まえ、名前や生態を調べたり、顕微鏡で観察します。
「夜の部」19:00～21:00
箱根VC周辺で夜行性昆虫を観察します。
申込み・問合せ：電話にて箱根ビジターセンターまで。

県立秦野ビジターセンター

- 企画展「丹沢のブナ林」
内容：丹沢のブナ林をのぞいてみませんか？どんな動植物がくらし、どんな風景が広がる森なのでしょう？展示でご紹介します。
開催期間：5月11日(土)～9月3日(火)
料金：入館無料
開館中はいつでも自由にご覧いただけます。
- 特別展「丹沢森のどうぶつ大研究！」
内容：丹沢にくらす動物たちを剥製などの標本や写真で紹介し、じっくり見て・さわって・クイズに答えて…、どうぶつの特徴や暮らしを大研究！
開催期間：7月13日(土)～9月23日(月・祝)
料金：入館無料
開館中はいつでも自由にご覧いただけます。

県立丹沢湖ビジターセンター

- ガイドウォーク〈申し込み不要・参加費無料〉
内容：旬の自然を観察しながら丹沢湖周辺を散策！ボランティアスタッフ「グループ・むしくさ」がご案内します。
開催日：毎月第2日曜日 10:00～12:00
集合：開始時間までにビジターセンター玄関前集合
※10名以上の場合はお問い合わせください。
イベント等の都合により、中止または日程変更する場合があります。
- 出張トーク〈申し込み不要・参加費無料〉
内容：センター職員が丹沢湖周辺のおすすめ自然スポットに出現！センターを離れて、数分～1時間のトークやガイドを行ないます。
開催日：毎月第4土曜日 10:30～14:30のうち1時間
※開催場所や時間、内容は月によって変わります。職員を見かけたら是非ご参加下さい。イベント等の都合により、中止または日程変更する場合があります。

自然公園へ出かけよう



休館日のお知らせ
県立ビジターセンター：月曜日(祝日開館)、祝日翌日(土日開館)
1～3月第2木曜日(祝日開館)
年末年始(12/29～1/3)
箱根ビジターセンター：6月第2水曜日とその翌日、
年末年始(12/28～1/1)

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00～16:30
(1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00～16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川659-3
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00～16:30
(12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00～16:30
(1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakovc/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川867-2-9
Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
開館時間 8:30～16:30
(12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根日礼場164
Tel0460-84-9981
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

編集・発行：公益財団法人 神奈川県公園協会 〒231-0027 横浜市中区扇町3-8-8 関内ファーストビル6階

TEL:045-651-0931 FAX:045-651-0932

公園課(自然公園担当):sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

後援：丹沢大山自然再生委員会

神奈川県公園協会

検索

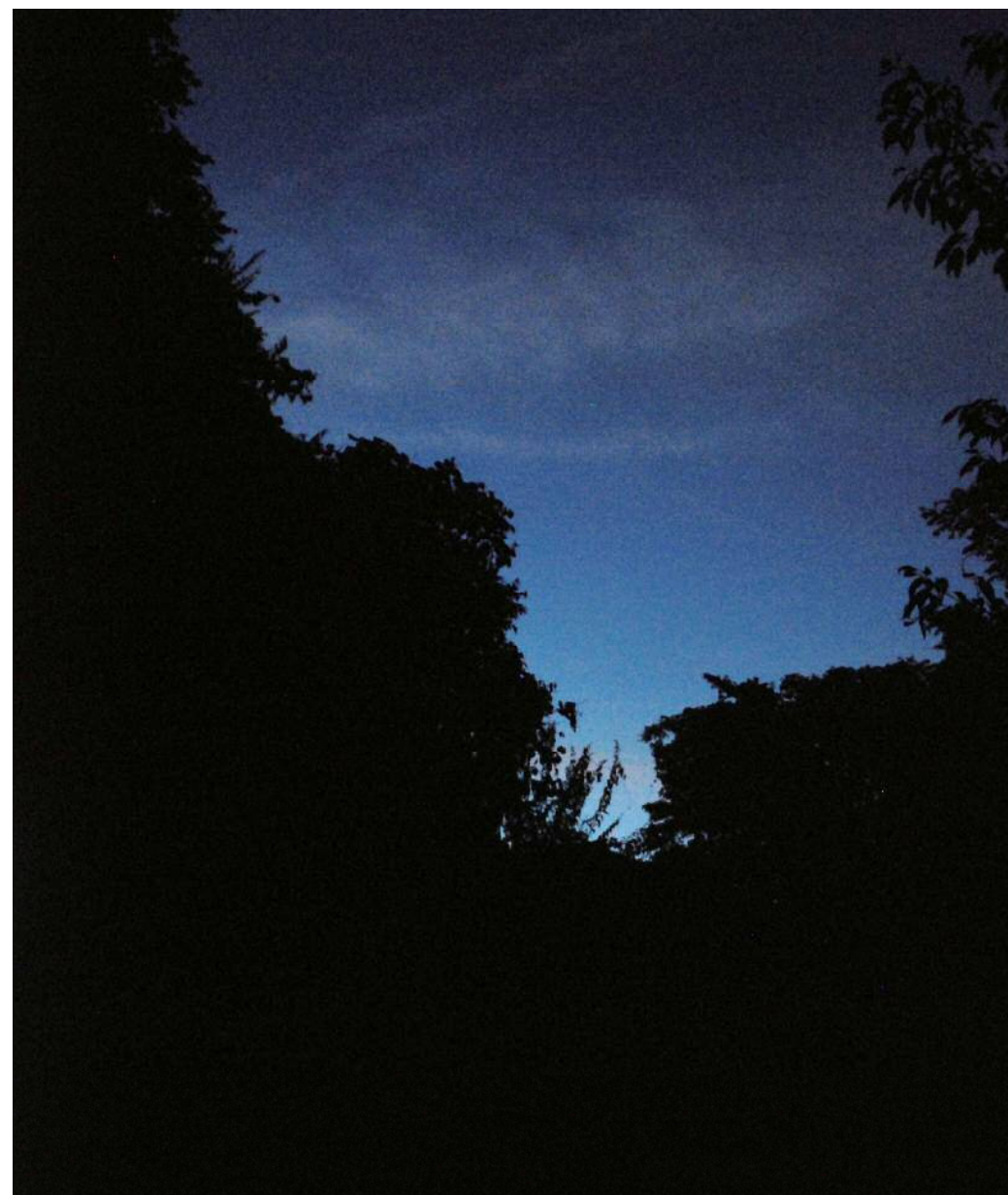
2013

7・8月号
No.105

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園



宮ヶ瀬の夜の森



夏、甘い香りを漂わせるクサギ

夕方
の
夜に
歩いて
みれば

宮ヶ瀬ビジターセンター

日が沈むころ、植物や生きものたちの様々な変化を見ることが出来ます。茜空はやがて青緑、そして紺色へと変わり、ねぐらへと急ぐ鳥たちのシルエットが横切ります。その中に、左右、上下へとめまぐるしく動くものがあれば、それはコウモリかもしれません。池や沢の上などを飛び、虫たちを捕食しているのです。薄暗くなっても、あきらめきれないように続いていたセミの声は、暗さが増す頃にはやみ、代わりにコオロギやキリギリスの仲間などの声が響きます。

真っ暗になると、日常生活ではあまり体験しなかった静けさと闇を、じっくりと感じることが出来ます。息をひそめ、じっとしていると、木々や草の影から「ガサガサッ」という何かの音が聞こえるかも

しません!また、ふとした瞬間、花の香りが強く漂うこともあります。暗くなって、目よりも耳や鼻の感覚が敏感になり、音や香りがいっそう楽しめます。

街中や住宅地でも、じっくり観察すると植物や生きものの営みが見られます。河原や公園などには「アブラコウモリ」が棲んでいることも!日没後に飛ぶ影をぜひ、探してみてください。

宮ヶ瀬ビジターセンターでは自然教室「夜の森へ出かけよう」を8月24日(土)に開催します。丹沢山麓をぜひ、一緒に歩いてみませんか!詳細はお問い合わせください。(鈴木)



昼間とは違う森で出会うものは?

ビジターセンターから、旬の情報

夏のお楽しみ

梅雨が明け、夏の暑さよいよ本番！昆虫たちが活発に動き回る“昆虫の季節”。吸蜜に花から花へと飛び回る蝶、花粉をいっぱいつけているハナムグリの仲間やハチの仲間たち、花々の回りは色々な昆虫たちでいっぱいです。

また、林の中に入ると、青々と茂った木々の葉が強烈な日差しをさえぎり、吹き抜ける風が肌に触れ、セミの鳴き声も心地よく感じます。季節の花々が咲く中でも濃厚な香りを漂わせるヤマユリ、長い茎に花をたくさんつけるオオハギボウヤ、花穂がトラの尾に似ていることから名がついたオオトラノオは目を引きまします。

これからの登山は熱中症対策として、こまめに水分を補給し安全登山を楽しんでください。ただ今、当センターでは「陣馬の昆虫たち」を開催中です。是非お越しください。(荒井)



イチモンジセセリ



アサギマダラ



キアゲハ



サカハチチョウ

カラムシ食堂

道端ではカラムシをよく目にします。ムシと言っても虫ではなく植物です。カラムシは昆虫たちに大人気。草丈は1メートルほどと低いので昆虫観察にはもってこいです。

葉の上でよく目にするのはラミーカミキリです。見る角度によって白黒のパンダの見える柄は、緑色の葉の上にととても目立ちます。このカミキリ、実は外来種で江戸時代に名前の由来となるラミーという植物が輸入されたのに伴って日本に入り込んだようです。成虫も幼虫もカラムシやその仲間を食草にしています。

次に目につくのはフクラスズメという蛾の幼虫です。黄色地に黒いラインと赤い点が鮮やかです。幼虫はカラムシなどの葉を食べ、成虫になると樹液に集まります。

是非探してもらいたいのはアカタテハの幼虫です。この幼



カラムシ



ラミーカミキリ



フクラスズメの幼虫



アカタテハの幼虫の巣



アカタテハの幼虫



アカタテハの成虫

仙石原の昆虫たち

神奈川県唯一の広大な湿原である仙石原湿原。毎年春に行われる野焼きにより維持され、多くの湿原性・草原性の植物が生息している貴重な環境です。そして仙石原にはその特殊な環境に適応した昆虫たちが生息しております。今回はその一部をご紹介します。

●クロトゲハムシ

体長5mmほど 観察時期：5月～9月
拡大してみるとものすごい無骨な姿。体を覆うトゲトゲで外敵から身を守っているのでしょう。ススキ草原の遊歩道沿いでススキの葉の上を注意して見るとちょこんとまとまっている姿を発見できるかもしれません。



クロトゲハムシ

●オオルリハムシ

体長10～15mm 観察時期：6月下旬～8月
神奈川県では仙石原にしか生息していません。ハムシの仲間ではかなり大型で赤い金属光沢がとても美しいです。シロネを食べ、昼間ヨシやススキなどの葉にとまっている姿が見られます。



オオルリハムシ

●ミドリシジミ 開長20mmほど 観察時期：7月下旬～8月上旬

仙石原は神奈川県一の個体数を誇ります。幼虫はハンノキの葉を食べ育ちます。成虫は翅を広げると緑色の光沢が美しく、夕方、縄張り争いのためオス同士が空中で回転しながら飛翔する姿は思わず「おお～！」と声が出てしまうほどの美しさです。



ミドリシジミ

とても一度では紹介しきれないほど、多くの魅力的な昆虫が生息する仙石原。人間の手により維持されているこの貴重な環境を末永く守っていききたいものです。(須田)

箱根ビジターセンター

表丹沢 大地からの恵み

秦野ビジターセンターのすぐ横を流れる水無川、その上流標高約1000m前後の山奥に、昔天然砥石をとっていた場所があります。砥石とは刃物を研いで切れやすくする道具のことで、ここで採られていた砥石を『戸川砥』と呼んでおり、流紋岩が変質したものです。昭和40年代まで採掘され地域へ流通していたようです。

採掘現場は、現在ではなかなか人が入れない険しい沢の奥にあります。こんな場所から石を切り出し担ぎ下ろしていたとは！と驚くばかりです。塔ノ岳と行者ヶ岳を結ぶ表尾根から眺めても、その険しさを想像できると思います。

沢を流れて小さくなった戸川砥の小石を、ビジターセンターのある県立秦野戸川公園内の水無川でも見つけることができます。色合いで見当を付け、水につけて他の石とこすり合せると分かります。山を眺めながら、昔の暮らし

を想像してみるのもお勧めです。戸川砥を展示室でも紹介していますので、ビジターセンターにぜひお寄りください。砥石を見分けるポイントもご紹介します！(柳川)



戸川砥の小石

秦野ビジターセンター



水無川上流の山並みを望む



展示で紹介しています！

西丹沢のシダ

暑い夏、沢沿いのルートを歩くのは気持ちの良いものです。そんなとき足元や岩につくシダに目をやってみましょう。

ハコネシダは丸い小さな葉がレースのようにつながり、風に揺れるともない幽かな気配は美しいものです。万葉集の東歌にも足柄の和草として歌われています。園芸店でアジアンタムとして売られている仲間ですが、その小さな葉裏に一つのソーラス(胞子が入っている袋の集まり)がついています。

同じ仲間クジャクシダがあります。クジャクが尾羽を広げた様に見たてたものですがそれほど大きくありません。丹沢で見られるものは私たちの掌ぐらゐが多いでしょうか。春の新葉の時は赤く縁取りが入りこれもまた優しげです。

ヘビネゴザという面白い名のシダもあります。いわゆるシダらしいシダなので見分けるのは難しいかもしれませんが、円形に叢生し、やや伏すのが特

徴です。その中でヘビが眠ると想像をしてみたのでしょうか。ヘビが冬眠から覚める頃今年の新葉がでます。(三川)



ハコネシダ ホウライシダ科



クジャクシダ ホウライシダ科



ヘビネゴザ イワデンダ科

ミニコラム 夏休み 自由研究のテーマは決まりましたか？

8月といえばお子様は夏休みを迎えるころでしょう。神奈川県には豊かな自然を紹介するビジターセンターがありますので、自由研究のテーマ探しや、研究の相談にいらしてはいかがでしょうか。

展示や資料を活用しよう

ビジターセンターには、動物や植物の図鑑のほか展示でも生き物のくらしを紹介しています。今まで見たことのない生き物の発見があるかもしれませんよ。また、身近に観察した生き物で、名前が分からないときの、調べ物としても活用できます。



クラフト教室に参加しよう

箱根ビジターセンターと宮ヶ瀬ビジターセンターでは、木の実を使ったクラフト教室を実施しています。作品を完成させるだけでなく、工作を通して様々な木の実の種類や、かたちの面白さを学ぶことができます。実施日や時間は各センターにお問い合わせください。



分からないことは、スタッフに！

不思議に思ったこと、分からないことはビジターセンターのスタッフに聞いてみましょう。1人では気付かなかった新たな発見もあることでしょう。

※どんなことが聞きたいのか、どんな資料が欲しいのか、予め電話やメールで問合せてから行くと、相談がスムーズになります。

